

かお・人インタビュー

2013年 6月 12日(水)

一般社団法人建設コンサルタント協会九州支部

植田薫支部長に聞く

九州各県、沖縄までいれて8県と政令都市3市を含めた意見交換など多忙を極める一般社団法人建設コンサルタント協会九州支部の植田薫支部長に今後の抱負や課題と活動方針などをお尋ねした。

◎2期目の支部長に就任された抱負は

近年の支部会員の増加により4月現在の会員数は123社となっており、関東支部に次いで2番目の規模となりました。しかし、建設コンサルタントを含む建設関連産業の評価は十分でなく、これら関連産業の重要性を一般の方々にも広く知っていただくために積極的な情報発信に努めるとともに、イメージアップにつながる魅力ある建設コンサルタントをさらに目指していきたいと思えます。



◎今後の課題については

従来型の大型公共事業は考えにくく、東日本大震災や九州北部豪雨災害などの自然災害対策と笹子トンネルの天井板崩落事故に象徴される施設老朽化対策などが課題となってくるので建設コンサルタントの役割はさらに重要になってきます。こういったなかで、これまで取り組んできた技術力による選定や品質確保はもちろんのことですが、九州各県との災害協定締結に向けての活動を始めていきたいと思えます。一方で、長年続いた公共事業削減の影響による「厳しい経営環境」や「若手技術者の不足」などの新しい課題にも直面しています。こういった難しい時代にあっては、特に協会団体としての活動が重要になってくると思えます。

◎最後に一言

これからも品質の良い成果品を通じて安全・安心な国土づくりの一翼を担う建設コンサルタントの社会的評価向上と業界の展望を開くために会員と力を合わせ邁進していきたいと思っています。

趣味は、特になく、散歩を時々、それと書店に立ち寄り気に入った本を買うこと。最近は、録画した歴史物などの古い映画を休日にまとめて見るのが楽しみです。

プロフィール

九州大学大学院工学研究科修了後、第一復建(株)に入社、平成20年に代表取締役社長執行役員に就任し現在に至る。
協会本部常任理事も兼ねる。現在62歳。